

ごあいさつ

このたび、父が長年にわたり地域の皆さんに信頼をいただいてきた当院を継承し、院長として診療に携わることとなりました。

私は鹿児島で生まれ育ち、医師としての基礎を千葉県での約10年間の臨床研修・勤務で培ってきました。その後、スペイン・バルセロナに留学し、ヨーロッパの医療制度や診療現場に触れる機会を得ました。特に、職場でのメンタルヘルスに対する社会全体の理解の深さと、心の不調を気軽に相談できる仕組みが整っていることに大きな学びを得ました。

医師を志した頃から、鹿児島の精神医療に貢献することは私にとって長年の目標でした。地域に根差した診療を続けてきた父の思いを引き継ぎ、これまでの経験を活かして地元の皆さんのお役に立てる大変うれしく思っております。

現代の日本では、働く世代の方々が多くのストレスを抱え、心身の不調につながることが少なくありません。過重な責任、職場の人間関係、ライフステージの変化など、仕事に関連するストレスは誰にでも起こり得る問題です。当院では、そうした働く方々の精神的健康を支え、早期に対応することが、地域全体の活力を守ることにつながると考えています。

さらに、近年注目されている大人の発達障害の評価や、増加する認知症への対応も重要な課題ととらえています。生きづらさを抱える方やそのご家族、また職場で支援を必要とする方々が安心して相談できるよう、心理士や地域の関連機関とも連携し、患者様一人ひとりに合わせた診療を心がけてまいります。

これまでの経験で得た知識と視点を生かし、鹿児島の皆さんのが心身ともに健やかに過ごせるよう尽力してまいります。地域に根ざし、気軽に相談できる「かかりつけ精神科」として今後も努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

院長 大迫 鑑頤